

---

---

所 属 : 国際学部

職・氏名 : 教授 欒 竹民

研究キーワード : 日本語史、日中両言語対照研究、日中文化比較研究

---

---

#### ■研究テーマ

##### ① テーマ：日本語における漢語の意味史についての比較研究

概要：日本語における漢語の意味史について中国語との比較を通して解明します。その上、漢語の意味変化を分類し、類型化の構築を試みます。類型の体系化によって漢語の意味変化の研究乃至日本語の語彙史、意味史の研究に寄与することを意図します。

##### ② テーマ：日・中・韓三言語における「性向語彙」についての比較研究

概要：日・中・韓三言語における「性向語彙」を巡って、実証的に記述、分析を施した上で対照研究を行うことによって日・中・韓三国人の対人評価意識に関する共通点と相違点を解明し、また三国社会に根付いて、機能している価値観、道徳観、社会規範及び価値指向等の実態に迫り、その異同を究明することとなります。その結果は日・中・韓三国の社会、文化研究ひいては異文化摩擦の軽減、異文化研究等に寄与するものともなります。

#### ■研究テーマの応用例

日中両国語教育への授業実践、日本語と日本文化授業への応用、日・中・韓三国合弁企業における異文化理解への活用、国際交流に必要な異文化間コミュニケーションの実践指導など。

#### ■主な著書、発表論文

『日中韓の伝統的価値観の位相―「孝」とその周辺―』2012年、溪水社

『日語語言文化』2013年、蘇州大学出版社

「漢語の意味変化について―「迷惑」の続貂―」『広島国際研究』第19巻、2013年

「日中両言語における「性向語彙」についての対照研究―「仕事の速い人・要領のよい人」を一階梯として―」『中国学研究論集』第三十三号、2014年

「性向語彙」の対照研究―「個性の強い人」を中心に―」『東北亜外語研究』第3期、2104

「日本現代社会における「孝」について―中国との比較―」『貴州大学学报』第1期、2015

「中日両言語の「性向語彙」における「負性原理」についての考察」『日語学習与研究』第1期、2015

#### ■想定される連携先

日本語や中国語などの言語教育を行う教育機関

国際交流などに関する機関